

平成22年度

学校だより 7月号

泰日協会学校 (バンコク日本人学校)
Thai Japanese Association School

修学旅行 ~ 無形の力 ~

生徒指導部長 平井 慎(ひらい まこと)

「キーン キュッ ゴー」という機械音の後、子どもたちから自然にわき起こる拍手で始まった2泊3日のチェンマイ修学旅行。子どもたちの拍手に修学旅行を楽しみに待っていた気持ちが私にも心地よく伝わってきました。飛行機が無事にチェンマイ空港に到着し、現地の旅行会社のバスに乗り込みツーリストボリスの先導でホテルに向かいました。ホテルに到着すると、最初の壁に子どもたちは向き合うことになりました。やはり、心が浮かれていたのでしょうか。静かに行動することができず、6年生の先生方から集団行動の在り方を子どもたちに問いかけられました。ここから子どもたちの動きがかわってきたのです。係を中心に協力して約250個近くある荷物をスムーズに運び終え、時間通りに静かに昼食会場に集まり、たくさん的人数で行う食事にもかかわらず混乱なく食事を摂ることができました。集団での動きを自分たちの頭で考え、それを行動で示す心が育っていることを感じました。

次に、エレファントキャンプに向かいました。ここでは、ゾウのショーを全員で見学しました。ゾウのサッカーに驚きの声をあげたり、ゾウの描く絵に感激したり、子どもたちは素直な心で感動を味わっていました。見学が終わり、1日の日程が終了し、いよいよホテルでの宿泊です。修学旅行というのは不思議な力をもっていて、子どもたちの距離がぐっと縮まるのです。やはり、子どもだけで宿泊をするというのは普段の生活では味わえない感情を子どもたちにもたせるのでしょうか。普段あまり話すことのない友だちとの心の絆が広がり、クラスの連帯感を感じることができました。

2日目、いよいよメーゲットノイ校との交流です。にこやかに出迎えをしてくれているメーゲットノイ校の子どもたちとは対照的に少し緊張した面持ちで入場してきました。歓迎のセレモニーの後、交流会が始まりました。私の担当は、「相撲」でした。最初はお互いに緊張していたのですが時間が経つにつれ、次々に自分たちから手を挙げてメーゲットノイ校の子どもたちと相撲を取り始めました。言葉を交わすことはほとんどありませんでしたが、体と体のぶつかり合いを通して自然に笑みが漏れ、お互いの心の通い合いを感じることができました。閉会式では、今までたくさんの時間をかけて練習してきた「エイサー」「組体操」「ふるさと」を披露しました。40度を超える日差しの中、心を込めて踊ったエイサー、焼け付くようなアスファルトに触れる手足の熱さ、そんなそぶりも見せずにがんばった組体操、疲れもピークに達してきている中でリコーダーを演奏し、全員で日本の心を伝えようと歌ったふるさと、どれをとってもこの交流会に向けて子どもたちががんばってきたことが伝わる心のもった発表でした。心と心の交流を感じることができ、思わず見ている私の方まで涙が出そうになりました。そして、見送りでは、いつまでも手を振ってくれているメーゲットノイ校の子どもたちの姿がこの交流のすばらしさを物語ってくれているようでした。

3日目、予定していた行程を終え、最後に飛行機が無事に着陸すると、また子どもたちから自然に拍手がわき起こり、家族との再会を楽しみにしている子どもたちの気持ちが伝わってくるようでした。きっと緊張感から解放され、家族の元へ帰る安心感から思わずでたのでしょうか。

この修学旅行を通して、子どもたちは外見的に変わったことはないかもしれませんが、しかし、たくさんのお会いや体験を通して、無形の力いわゆる心の成長があったのだと思います。「修学旅行」それはたくさんの「無形の力」を子どもたちにもたらすものです。最後になりましたが、子どもたちにこのような機会を設けてくださった6年生の先生方、旅行会社の方々、ホテルの方々、そして温かく見守ってくださった保護者の皆様へ感謝とお礼を述べさせていただきます。「本当にありがとうございました。」

2010年度		7月行事予定		泰日協会学校
日	曜	児童生徒	下校/休	
1	木	中第1回定期テスト 原・きょう校検査 小2校外学習	11:35 M1-3 14:35 P1 15:30 P2-4	
2	金	中第1回定期テスト 原・きょう校検査	14:35 J-BUS	
3	土	全校生登校日 小6授業参観 原・きょう校検査	10:30 P0 11:30 P1-3 M1-3	
4	日			
5	月	原・きょう校検査 恵比寿誠中学校・高等学校説明会	14:35 P1-3 15:30 P4-6 M1-3	
6	火	原・きょう校検査	14:35 P1 15:30 P2-4 M1-3	
7	水	原・きょう校検査 豊台甲府高等学校説明会	14:35 P1-2 15:30 P3-6 M1-3	
8	木	原・きょう校検査	14:35 P1-2 15:30 P3-6 M1-3	
9	金	原・きょう校検査	14:35 J-BUS	
10	土			
11	日	第1回英検二次		
12	月	小クラブ活動①	14:35 P1-3 15:30 P4-6 M1-3	
13	火		14:35 P1 15:30 P2-4 M1-3	
14	水		14:35 P1-2 15:30 P3-6 M1-3	
15	木	5時間授業	14:35 J-BUS	
16	金		14:35 J-BUS	
17	土	全校生登校日 如礼館/バンコク中学・高等学校説明会	11:30 P1-6 M1-3	
18	日			
19	月	中個別面談 小委員会活動②	13:10 M1-3 14:35 P1-3 15:30 P4-6	
20	火	中個別面談	13:10 M1-3 14:35 P1 15:30 P2-4	
21	水	中個別面談	13:10 M1-3 14:35 P1-2 15:30 P3-6	
22	木	中個別面談	13:10 M1-3 14:35 P1-2 15:30 P3-6	
23	金	中個別面談	13:10 M1-3 14:35 P1-6	
24	土			
25	日			
26	月	アーサーライブチャ		
27	火	カオパワサー		
28	水		14:35 P1-2 15:30 P3-6 M1-3	
29	木	同志社国際中学校・高等学校説明会	14:35 P1-2 15:30 P3-6 M1-3	
30	金	小音楽朝会 JTB ミーティング	14:35 J-BUS	
31	土			

家族でアユタヤの歴史公園に行きました。ワット・マハタートや涅槃仏を見て回りました。そこで、退学の日一度さよならをした4年生の子に会いました。翌日インドに引っ越すのだそうです。もう一度会えたことの偶然に感激しました。出会いと別れを本校では、たくさん経験します。その一コマを歴史的な町で経験し、感慨深くなりました。

研究部長 牧澤 利光

学校説明会・進路説明会

進路指導部長 上野 資幸

本校では、中学部3年生を対象に年3回の進路説明会を開催しています。今年度は、中学3年生の学年懇談会の中で、進路担当より説明するという形で実施しております。5月に1年間の流れ、9月に年内入試について、11月に年明けの入試について説明いたします。



また、小学部5、6年生及び中学部を対象に、帰国子女を受入れる学校や海外入試を実施している学校などの説明会を随時開催しています。小学部は進路通信「ホーン ネネオ」で、中学部は進路通信「COMPASS」でも案内しますが、概ね実施日の3週間前に参加申込書を配布しております。日本からの資料送付等の関係で、2週間前には参加申込を切としていますが、前日までにお子さんの連絡帳や生活ノートを通して担任に参加を伝えていただければ参加可能です。ただし、資料等は期日厳守で申し込まれたかたが優先となりますのでご了承ください。直接、高等学校の先生に質問できるチャンスです。情報収集の場として積極的にご活用ください。多数の参加をよろしくお願いいたします。

なお、事務棟2Fの進路相談室も情報収集の場としてご活用ください。

安全意識・迅速な対応・あたたかな協力

～ 緊急一斉下校訓練～

学部長補佐 梶原 隆裕

タイ反独裁民主戦線(UDD)によるデモ活動の影響により、4月の新年度当初から、落ち着いた情勢が続きました。在外教育施設ということもあり、特に「安心して学び、通うことのできる学校」を目指し、これまで日々、学校教育活動に取り組んできましたが、今回の長期化かつ過激化したデモ活動は夜間外出禁止令の発令にまで及び、バンコク日本人学校も少なからず影響を受けました。

このような非常事態に備え、毎年「緊急一斉下校訓練」を行っておりますが、今年度は、訓練を実施する間もなく、反政府集会やデモ行進による渋滞が予想されたことで、急遽、下校時刻を早めて一斉下校するという対策をとりました。また特に危険であると判断した地域から登校していた児童生徒のバスには、教員も同乗して送り届けました。その上で5月6日(木)には当初の予定どおり「緊急一斉下校訓練」を実施致しました。実際には、「今後、どうなるのだろうか」という先の見えない不安が募る中、5月17日(月)から1週間の休校措置をとるといった事態にまで及びましたが、その都度、学級総務の方を始め、保護者の皆様には、連絡網にて情報を伝達していただくとともに、迅速な対応をしていただきました。多大なるご協力、あたたかなご支援、誠にありがとうございました。

現在、情勢は落ち着いてきたものの、今後またいつ緊急事態が発生するか分かりません。海外に住んでいるからこそ、このような事態に備えて訓練をしておくことはとても大切なことです。同時に、自分たちの命を守るためにはどうするべきかという意識をもつことも子どもたち自身が考えるよい機会であると考えます。

今後も、安心して学び、通うことのできる学校づくりのために、保護者の皆様にご理解、ご協力していただくことが多々あるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

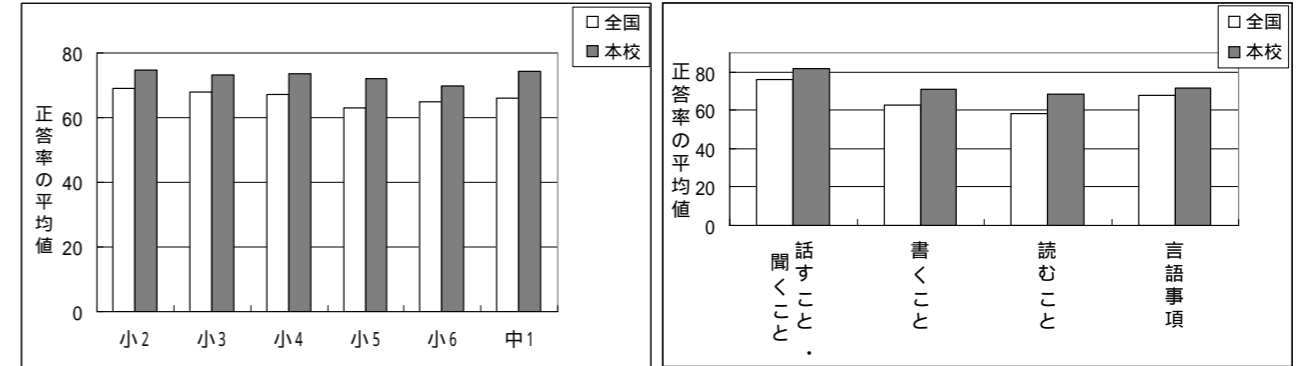
本校の児童生徒の学力について(国語編)

～ 全国標準学力検査NRTの結果から～

教務部長 氏本 射須身

本校では毎年4月の下旬に、小学2年生から中学1年生(前年度小学1～6年生の国語、算数の学習内容)を対象に全国標準学力検査NRTを実施しています。

図1；国語の正答率の平均値比較(学年別) 図2；国語の正答率の平均値比較(領域別)



検査の難易度によって正答率は変わりますので、単にどこが「高い・低い」と比べるよりも、ここでは、主に全国平均と本校の平均を比べて検討したことをお知らせします。学力検査の結果は、上のグラフのとおりです。どの学年・領域においても、全国平均を上回っています。しかし、その中でも全国平均に比べ、それほど正答率が高くなかった領域があることから、国語を中心に指導方法の改善を考えていきます。

「読むこと」「書くこと」の領域は、全国平均に比べ、かなり正答率が高い。全国平均を上回っているが、「言語事項」の正答率は、全国平均との差が小さい。

【対策】

「言語事項」とは、かな文字や漢字を含めた「言葉の特徴やきまり」のことです。その成績を上げるには、漢字練習やその学年に応じた文法を確実に身に付けさせる学習が必要になります。ただし、新学習指導要領では、「言語事項」を単独の領域として学習するのではなく、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と絡めて指導することになっていきます。その方が、指導の必然性があるからです。「正しく解釈して読み取る」「もっとうまく話したり、書いたりする」ためには、語量を増やしたり、正しく豊かに言葉をつかたりすることが大切です。つまり、反復学習も必要ですが、それだけでなく、子どもの学習の必要性に応じて、言語感覚を豊かにする指導が重要になります。

そこで、次のような学習を設定するように努めます。

- 基礎・基本となる漢字、言葉の特徴やきまりの学習について、日常生活において確実に使えることを重視し、実際に文章を書く中で繰り返し学習する。
- 読書への興味が高まるように努め、言語力を高める素地をつくる。
- 記録・説明・報告・感想・紹介など様々な文章を書く活動を日常的に行う。
- 対話やグループでの話し合い、発表など話す機会を多く設定する。
学年・学級によって異なりますが、このような学習の中で、言葉にこだわるようにしていくことが大切だと考えます。

「言語力」の重要性が、日本全国でも盛んに述べられています。多くの言葉を豊かに使いこなせることは、広く深く考えることや、知識・理解が進むことにつながります。国語の学習を中心に「言語力」を高めることで、バランスのよい学力向上を目指していきたいと考えています。次号で、算数の結果についてお知らせします。